投 稿 規 定

1) 本誌は森ノ宮医療大学の機関誌で、年1回発行し、総説、原著、その他を掲載する。公表は「森ノ宮医療大学学術リポジトリ」上で行うことを原則とする。
2) 紀要に寄稿できる者は，次の各号の一に該当し，共著者全員の同意を得た者とする。
   (1) 投稿者の少なくとも1名は本学専任の教職員であること
   (2) その他紀要編集部会が認めた者
3) 投稿される原稿は、未公刊のものに限り、内容、体裁が整い、直ちに公表できるものでなければならない。投稿原稿の採否は、査読を行った上、編集部会において決定する。なお、原稿の一部削減、修正、加筆などを投稿者に要請することがある。
4) 原著、症例報告の原稿は、表紙、本文、文献、脚注、表、図の説明、図の順に一括し、原則としてA4判の用紙設定でMicrosoft Wordを用いて、邦文あるいは英文により作製すること。
5) 原稿の表紙は,「森ノ宮医療大学紀要投稿論文　表紙(様式1)」を用いて作成すること．また，原稿とは別に，「投稿チェックリスト（様式2)」,「共著者投稿同意書（様式3)」を作成し，投稿論文に添付すること．
6) 邦文の原稿では、本文に、英文のタイトル、300語以内の英文要旨をつけること。なお、英文要旨は、英語の専門家等の校正を受けること。邦文要旨と英文要旨には、それぞれ、邦文と英文のKey Wordを5語以内でつけること。Microsoft Wordの脚注機能を用いないこと。
7) いずれの原稿も、図表含め原則20,000字以内とする（図表は1点につき500字相当とする)。
8) 表には縦線を引かない。図の解像度は、300dpi以上とし、ファイル形式は、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Microsoft Power Pointの形式か、あるいはTIFF、BMP、PICT、EPSのいずれかのみとする。図は原則として印刷される大きさ（刷り上りサイズ）とする。
9) 図、表が挿入されるべき位置を本文の欄外に明示すること。
10) 本文中の固有名詞、外国語、化学物質名、薬品名などは原語とし（動植物の学名はイタリックとする)、学術用語(日本語)はそれぞれの学会用語委員会選定のものを用いる。英数字は、半角文字のみ使用可能とする。
11) 引用文献は和文，欧文の区別なく、引用の順にならべて一連番号をつけ、本文中の該当個所にも右肩にアラビア数字で片かっこをつけて示す。
12) 文献は次の記載法による。英数字は、半角文字のみ使用可能とする。

    ①論文・著者数；

    文献のタイトルは、副題も含めてフル・タイトルを記す。引用文献の著者や編集者は、6名まではすべて記載。著者間はコンマで区切る。7名以上の場合は「ら」、または「et al.」とする。

    ②雑誌；

    著者名．論文タイトル．雑誌名 (類似の誌名のあるときは発行地)．西暦発行年；巻 (号)：起始頁–最終頁．但し、巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合には、巻数の代わりに通し号数または発行年月日を記載する。

    例1) 山本太郎，山田花子．鍼灸臨床と今後の課題．世界鍼灸学会雑誌．1998；60(1)：123–30.

    例2) Yamamoto T, Yamada H. Effects of acupuncture therapy on chronic pain. J Jpn Soc Acupunct. 1986; 35(3): 21–8.

③書籍；

著者名．書名．版数．発行地．発行所名．西暦発行年：起始頁−最終頁.

例）山田太郎．鍼灸の基礎と臨床．第3版．東京．鍼灸科学社．1999：34−63.

④監修者、編者のある書籍；

例1）山田花子．鍼灸学概論．田中一雄, 川口　修(編)．鍼灸大辞典．東京．鍼灸科学社．2000：125−60.

例2）Yamamoto T, Yamada H. Effects of acupuncture therapy on chronic pain. In: Tanaka K (ed). Science of Acupuncture. Tokyo. East-Airt. 2000: 1−10.

⑤古文献；

江戸期以前の図書については、原則として、編著者名．書名．成立年．刊行年（もしくは抄写年）．発行者．発行地．および該当丁（葉）数（表・裏）あるいは、頁数もしくは項目名を記し、稀観本については所蔵者名も明記する。

例）吉益東洞．薬徴．1828．1980．財団法人漢方医学研究所．東京：145−50.

⑥その他；

現代中国の文献の場合は、日本で使用されている漢字に直して記載する。

⑦引用を避けるもの；

抄録。私信。商業誌。未刊行物。ただし、口頭でなく、文書による通信は本文中（カッコ内）に挿入しても良い。受理されて、まだ、掲載されてない論文は、雑誌名を記して「印刷中」とする。

⑧雑誌名の略記；

雑誌名はできるだけ略記する。

13）デジタルデータはウィルス等に感染していないことを確認後、原稿を電子メールによりkiyou@morinomiya-u.ac.jpまで提出すること。締め切りは10月末日とする.

14）校正は原則として著者校正とし、一校のみとする。校正時の文章や内容の訂正、変更については､組版面積に影響を与えるような改変や組替えは許されない｡校正後の最終原稿のチェックは，校正時の指摘箇所のみとする。

15）出版後にpdfファイルを著者に電子メールにて送付する。

16）本紀要に掲載された論文､抄録等の著作権は､森ノ宮医療大学に帰属するものとし､複製権,および公衆送信権を著者に許諾する。また、論文内において権利処理が必要なものに関しては、著者の責任において完了させておくものとする。

原稿の送り先、投稿規定その他に関する問い合わせ先：

森ノ宮医療大学研究支援センター紀要編集部会
〒559−8611　大阪市住之江区南港北1−26−16
TEL（06）6616−6911（代）
FAX（06）6616−6912
E-mail：kiyou@morinomiya-u.ac.jp